

平成 21 年 2 月期第 1 四半期連結業績のご報告(その 1)

売上高 16.8%減、企業の景況感悪化・労働力確保に向けた動きの減速が影響

- 売上高は前年同期比 16.8%減の 2,693 百万円、営業損益が同 425 百万円減の 101 百万円の損失、経常損益が同 423 百万円減の 95 百万円の損失、四半期純損益が同 253 百万円減の 60 百万円の損失となりました。
- 『DOMO』の売上高は、前年同期比 18.5%減の 2,364 百万円となり、全版において減収となりました。前期から続くサブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅融資)問題や、原燃料価格の高騰を背景に企業の景況感に悪化が見られ、各企業の労働力確保に向けた動きが減速するなど、事業環境に大きく影響を受けました。
- 成長に向けた当期の重点施策「既存事業の強化」「地域展開への取組み」「新規事業の開発」について、スピード感を高め実現に向けて取り組んでまいります。

業績のご報告にあたって

株主の皆さまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当四半期の業績につきましては、売上高において大きく予想と乖離し、営業利益も損失計上と、皆さまにはご心配をお掛けする結果となり大変申し訳なく思っております。各企業の人材ニーズはあるものの、企業の景況感は悪化しており、それに伴い企業の採用意欲が急速に減退しています。主要顧客のひとつである人材サービス系企業はさらに一段とですが、重点的に開拓を実施している飲食・販売業においても全般的に求人広告を出し控える傾向にあるなど、当社の予想を超えた状況に直面しております。

当四半期では『アル恋』という特別企画を実施し、『DOMO NET(ドーマネット)』ブランドの認知度の向上や、ネットでの課金を増加させることができました。様々な改善点や反省点などありますが、市場環境が想定を超えた厳しい足元であればこそ、新たなチャレンジを積極的に推し進めるべきと捉えております。競合他社との商品やサービスの差別化を強化し、前期からのコスト改善をさらに推進する「既存事業の強化」や「地域展開への取組み」、そして当社の経営資源とネットワークを最大限に有効活用する「新規事業の開発」といった、成長に向けた当期の重点施策について、スピード感を高め実現に向けて取り組んでまいります。

業績予想につきましては、新たな取組みも加え、今後の市場動向を精査した上でご報告させていただきます。

今後も当社経営資源を最大限に活用し、全従業員が一丸となって業績の向上に取り組んでまいりますので、引き続き株主の皆さまからのご支援を賜りたいと思っております。よろしく御願い申し上げます。

平成 20 年 6 月

代表取締役社長 垣内 康晴

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

平成 21 年 2 月 期 第 1 四 半 期 連 結 業 績 の ご 報 告 (そ の 2)

■ 当四半期の業績(平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 5 月 31 日)

百万円	平成21年2月期 Q1実績		平成20年2月期 Q1実績		前年同期比		平成21年2月期 Q1予想		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	2,693	100.0	3,237	100.0	△544	△16.8	3,018	100.0	△325	△10.8
DOMO	2,364	87.8	2,902	89.6	△537	△18.5	2,708	89.7	△343	△12.7
DOMO NET	38	1.4	17	0.5	21	125.4	16	0.5	22	138.7
ESHIFT	-	-	17	0.5	△17	-	-	-	-	-
FP 取次	289	10.8	300	9.3	△10	△3.6	294	9.7	△4	△1.6
売上原価	903	33.6	1,021	31.6	△117	△11.6	981	32.5	△77	△7.9
販管費	1,890	70.2	1,891	58.4	△1	△0.1	1,980	65.6	△89	△4.5
営業損益	△101	△3.8	324	10.0	△425	-	57	1.9	△158	-
経常損益	△95	△3.6	327	10.1	△423	-	59	2.0	△155	-
税金等調整前	△100	△3.7	325	10.1	△426	-	57	1.9	△158	-
四半期純損益	△60	△2.2	192	6.0	△253	-	33	1.1	△94	-
EPS	△¥1.74		¥5.57				¥0.97			

(注1) FP 取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、
税金等調整前:税金等調整前四半期純損益、EPS:1株当たり四半期純損益

(注2) 『ESHIFT(イーシフト)』は平成 19 年 9 月をもって『DOMO NET』へ統合しました。

前年同期に対して減収減益

当四半期の連結業績につきましては、売上高は前年同期比 16.8%減の 2,693 百万円、営業損益が同 425 百万円減の 101 百万円の損失、経常損益が同 423 百万円減の 95 百万円の損失、四半期純損益が同 253 百万円減の 60 百万円の損失となりました。

売上原価は、売上高の減少により、印刷費が同 12.3%減の 566 百万円、労務費が同 28.2%減の 41 百万円となり、全体で同 11.6%減の 903 百万円になりました。販売費及び一般管理費は、『DOMO NET』の認知度向上のための広告宣伝費を積極的に投入しましたが、流通費等の削減をもって相殺し、同横ばいの 1,890 百万円となりました。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:
株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課
E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

企業の景況感悪化により『DOMO』事業は苦戦

主力事業である『DOMO(ドーマ)』の売上高は、前年同期比 18.5%減の 2,364 百万円となりました。前期から続く米国のサブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅融資)問題から端を発した国際的金融不安や、原燃料価格の高騰を背景とした景況感の悪化により、各企業の労働力確保に向けた動きが減速していることが大きな要因となっております。

首都圏版につきましては、前期に引き続き大手人材サービス業からの掲載が減少を続けている上、飲食・販売業からの出稿にも減少が見られ、同 25.8%減の 603 百万円となりました。

千葉・船橋・習志野版につきましては、競合の価格施策もあり出稿が減少し、同 23.4%減の 46 百万円となりました。

横浜版につきましては、大手人材サービス業からの掲載の減少が大きく影響したことにより、同 31.0%減の 163 百万円となりました。

静岡3版につきましては、とりわけ西部版において大手製造業の減産や、海外への工場移転等が重なったこと、中部版において景況感悪化の影響を受け、飲食・販売・サービス業からの出稿が減少したことが影響し、同 15.1%減の 1,008 百万円となりました。

名古屋版につきましては、前期は名古屋駅エリアの活性化に伴い出稿が増加したものの、当四半期は景気減速の影響から飲食・サービス業を中心に掲載が減少したため、同 9.6%減の 322 百万円となりました。

大阪版につきましては、景気減速の影響は受けたものの、飲食・サービス業を中心に平均単価を上昇させることができ、影響は軽微にとどまったため、同 3.3%減の 189 百万円となりました。

神戸版につきましては、平成 20 年 5 月 26 日発行号をもって休刊いたしました。

『DOMO NET』につきましては、『DOMO』と完全一体型商品として販売しているため単独での売上は大きく見込んでおりませんが、『DOMO NET』で上位表示されるタイプアップ販売や、トップページから直接求人広告にリンクを貼るバナー広告の販売、そしてさらなる認知度向上を図るため 4 月 1 日より約 3 ヶ月間、特別企画『アル恋(※)』のプロモーション施策を実施したことにより、同 125.4%増の 38 百万円となりました。

連結子会社である株式会社リンクが行うフリーペーパー取次事業につきましては、主要顧客である住宅系のフリーペーパーにおいて廃刊が相次ぎ、同 3.6%減の 289 百万円となりました。

※『アル恋(どおしても!アルバイト恋愛至上主義)』とは…

「3ヶ月間のアルバイトで恋は生まれるのか?」を検証する企画。実在する都内のカフェでアルバイトをする男女 8 人が、その過程で起きる出来事や思いをブログに綴り、ユーザーはブログを通して見守る。同時に、『DOMO NET』と『DOMO』で「新たな出会いが期待できる職場」特集を実施。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

平成 21 年 2 月期第 1 四半期連結業績のご報告(その 4)

連結業績予想(平成 21 年 2 月期通期、平成 20 年 4 月 10 日発表)

百万円	平成21年2月期		平成20年2月期		前年同期比	
	通期予想		通期実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	11,644	100.0	11,748	100.0	△103	△0.9
DOMO	10,335	88.8	10,459	89.0	△123	△1.2
DOMO NET	82	0.7	63	0.5	18	29.6
ESHIFT	-	-	27	0.2	△27	-
FP取次	1,226	10.5	1,197	10.2	29	2.4
売上原価	3,783	32.5	3,889	33.1	△105	△2.7
販管費	7,202	61.9	7,234	61.6	△32	△0.4
営業利益	658	5.7	623	5.3	34	5.5
経常利益	669	5.7	654	5.6	14	2.2
税金等調整前	656	5.6	526	4.5	130	24.8
当期純利益	386	3.3	296	2.5	90	30.7
EPS	¥11.17		¥8.55			
DPS	¥3.00		¥6.00			

(注1) FP取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、

税金等調整前:税金等調整前当期純利益、EPS:1株当たり当期純利益、DPS:1株当たり配当金

(注2) 『ESHIFT』は平成 19 年 9 月をもって『DOMO NET』へ統合しました。

■ 中間決算発表予定日のお知らせ

平成 21 年 2 月期中間決算発表予定日は、10 月中旬を予定しております。当社ホームページでは決算発表予定日など IR 関連のスケジュールを掲載しておりますので、インターネットに接続できる環境にある方はぜひご活用ください。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、電子メールアドレスのみで登録が可能な「ニュースメールマガジン」では、ホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしております。こちらもあわせてご利用ください。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社 アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300